
2008年3月期 中間決算

2007年11月7日
住友商事株式会社

Topics

1. 中間決算総括

2. 通期業績見通し

3. GG Planの進捗状況

4. 中間配当

5. 持続的成長に向けて

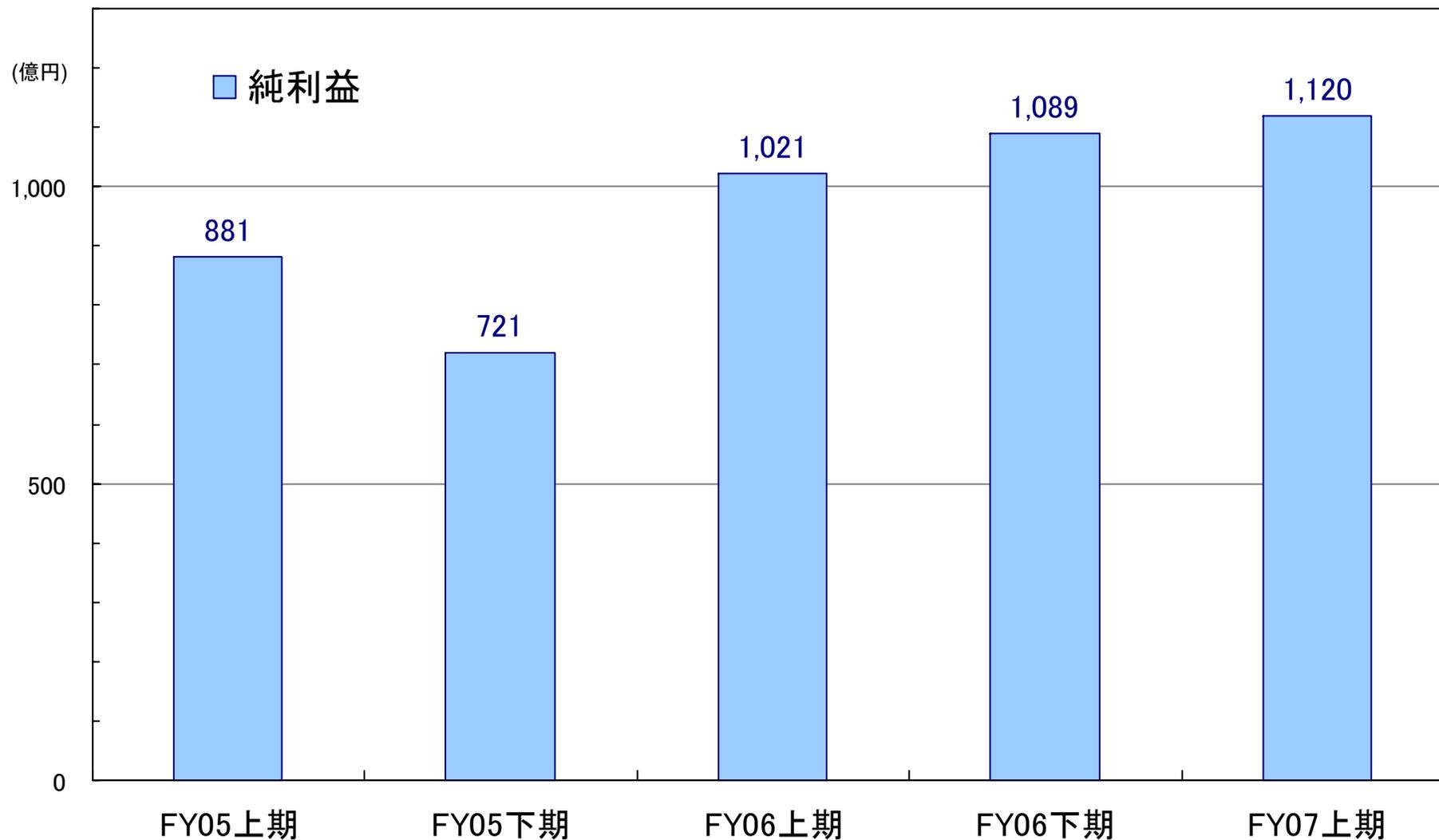
将来情報に関するご注意

本資料には、当社のGG Plan等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣がGG Planを成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

1.中間決算総括

①純利益の推移

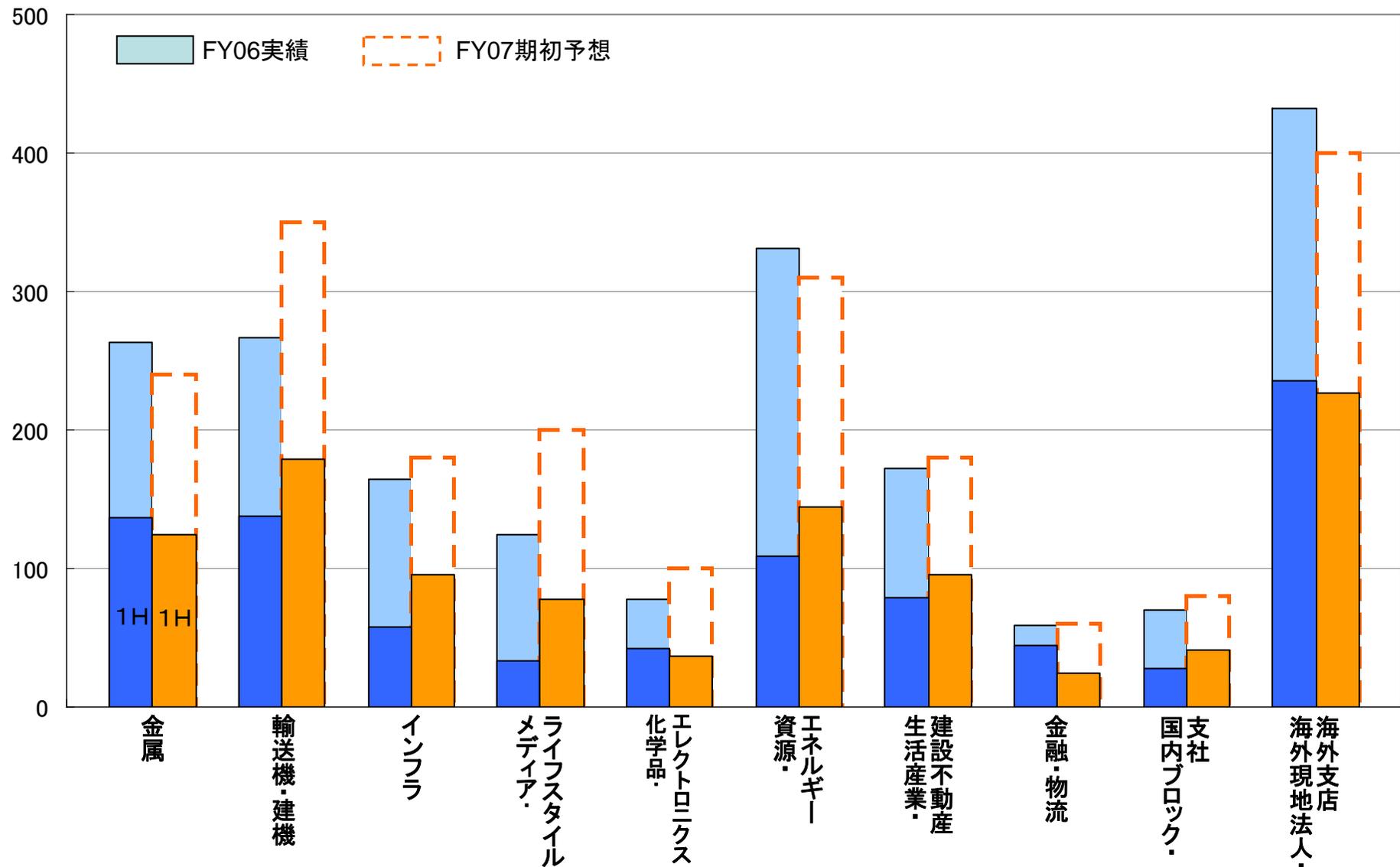
純利益: 1,120億円(前年同期比+99億円、増益率+10%)



1.中間決算総括

②セグメント別純利益

(億円)



2.通期業績見通し

①世界経済見通しと前提条件

- ・サブプライムローン問題の影響から、世界経済の成長鈍化
- ・リスク要因は、米国経済の更なる減速や国際金融市場の不安定化

前提条件		08/3期 期初予想 (07/4時点)	08/3期 見通し (07/10時点)	センシティブティ
為替 (¥/US\$:平均)		115	120	約6億円 (1¥/US\$)
金利	LIBOR 6M (YEN)	0.85%	1.00%	—
	LIBOR 6M (US\$)	5.2%	5.2%	—
原油<北海ブレント> (US\$/bbl)		55	67	1億円弱 (1US\$/bbl)
原料炭 (US\$/MT)*		80~98程度	80~98程度	0 (年度契約締結済み)
銅 (US¢/lb)		260	314	約0.7億円 (1US¢/lb)

* 市場情報に基づく一般的な取引価格

2.通期業績見通し

②主要損益項目の見通し

2008/3期純利益見通し ⇒ 2,350億円

- ・「金属」、「輸送機・建機」、「インフラ」、「資源・エネルギー」、「海外」は引き続き堅調
- ・3Qにリース・オートリース事業再編に伴うみなし売却益計上
- ・サブプライムローン問題の影響は限定的

(単位:億円)

	2008/3期			2007/3期		増減 ②-③
	07/9期 実績①	年間見通し ②	進捗率 ①/②	06/9期 実績	年間実績 ③	
純利益	1,120	2,350	48%	1,021	2,110	240
売上総利益	4,672	9,800	48%	4,156	8,577	1,223
営業利益	1,333	2,780	48%	1,199	2,397	383
基礎収益	987	2,099	47%	1,003	2,029	70

2.通期業績見通し

③主要経営指標の見通し

	07/3末	08/3末見通し
総資産	8兆4,305億円	7兆8,000億円
株主資本	1兆4,731億円	1兆7,300億円
株主資本比率	17.5%	22.2%程度
有利子負債(Net)	2兆9,133億円	3兆2,900億円
DER(Net)	2.0倍	1.9倍程度
ROE	15.2%	14.7%程度
ROA	2.8%	2.9%程度

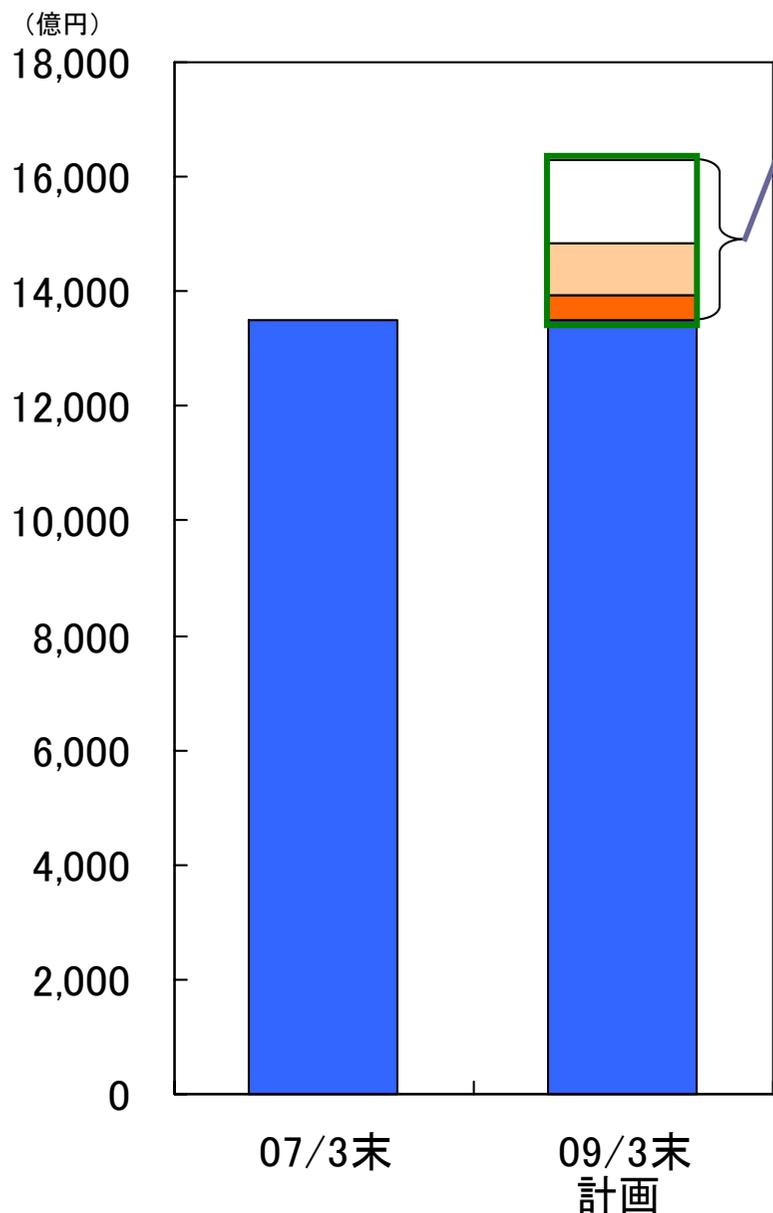
戦略的投資等：
+3,000億円

リース・オートリース再編：
△9,000億円

合計：△6,000億円

3.GG Planの進捗状況

①リスクアセット積み増しの進捗状況



上期実績	: 450億円
確定済み	: 900億円
合計	: 1,350億円
GG Plan計画	: 2,800億円

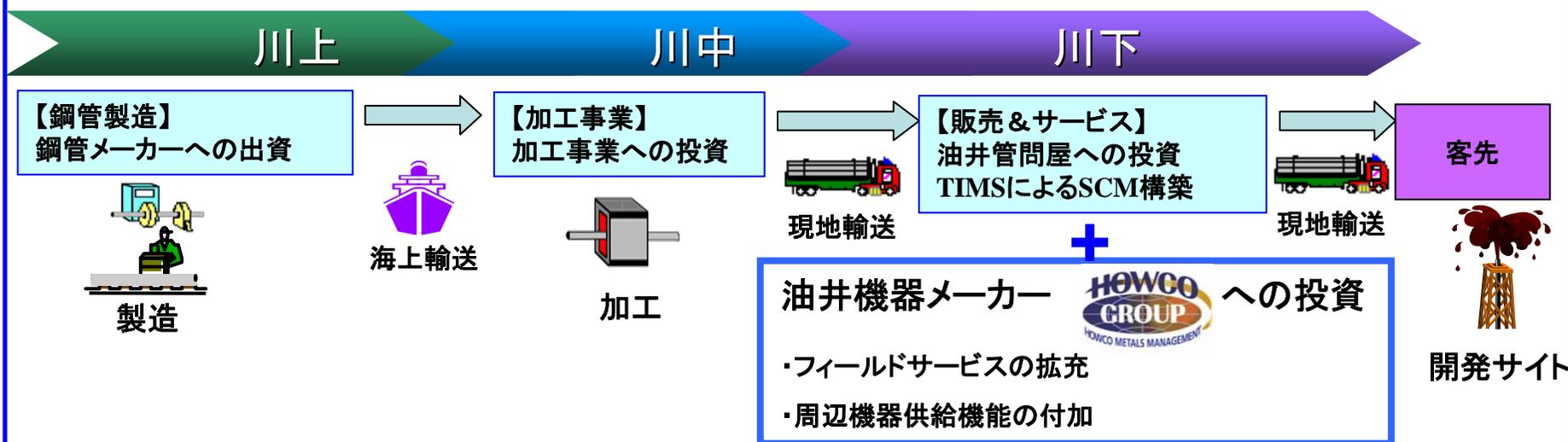
- <主要案件>
- ◆住商リース・住商オートリース再編
 - ◆エースオートリース子会社化
 - ◆タイIPP事業会社への出資
 - ◆ジュピターショップチャンネル子会社化
 - ◆J:COM・ジュピターTV統合
 - ◆ナラカミーチェ買収
 - ◆アンバトビーニッケル鉱山(マダガスカル)開発
 - ◆アソマン社(南ア)権益追加取得

3.GG Planの進捗状況

②収益基盤の拡大(1)

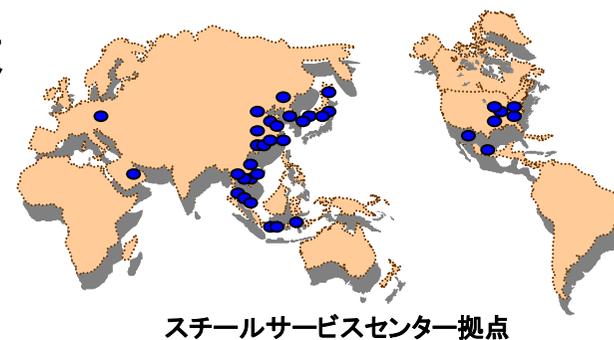
【金属】[ソリューションプロバイダーとしての機能強化]

➤鋼管：バリューチェーンの更なる拡充



➤鋼材：ニーズに応じた
スチールサービスセンターネットワークの拡大

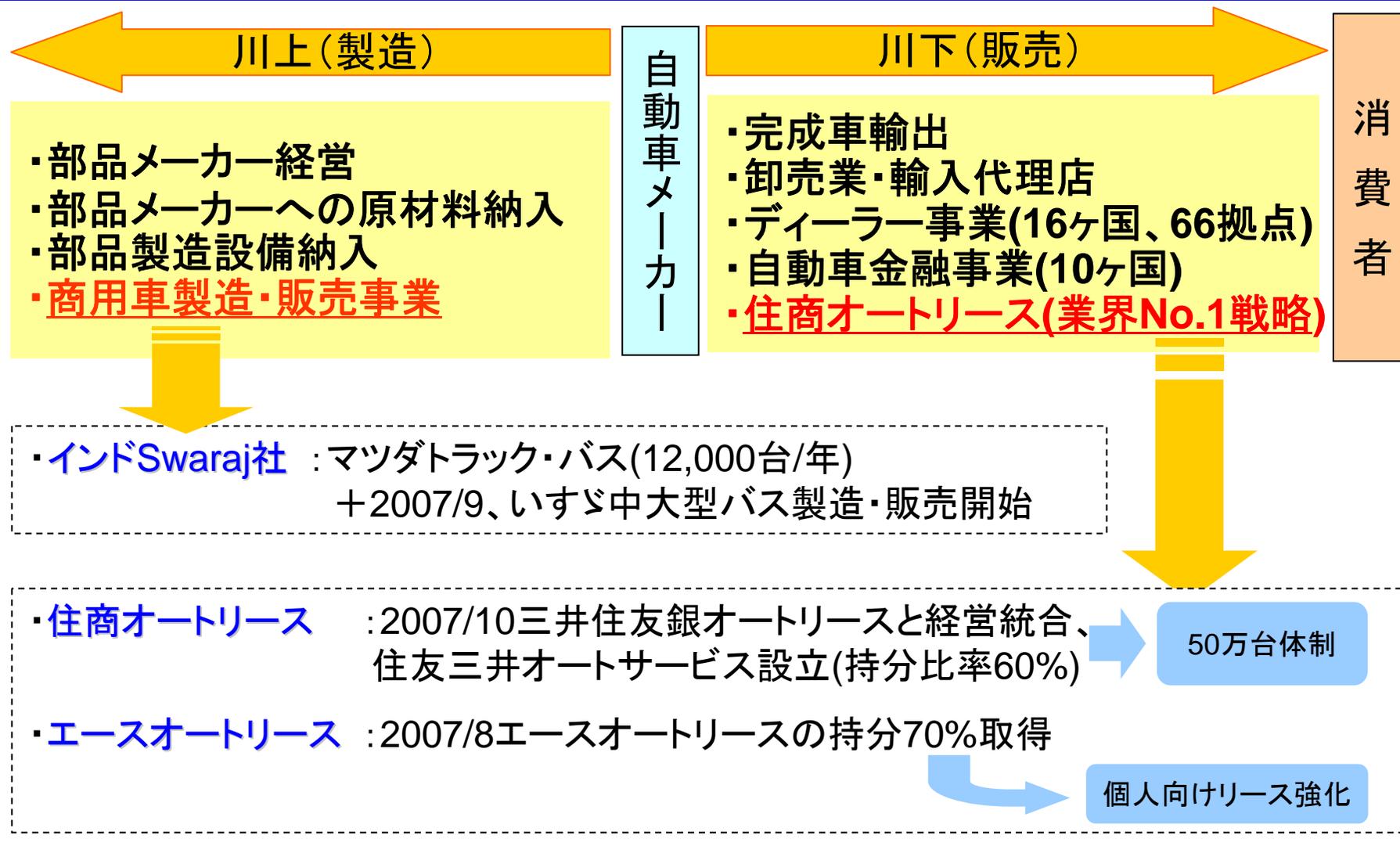
〔年間加工能力：海外450万トン(12カ国33社)
国内220万トン(10社)〕



3.GG Planの進捗状況

②収益基盤の拡大(2)

【輸送機・建機】[自動車バリューチェーンの拡充]



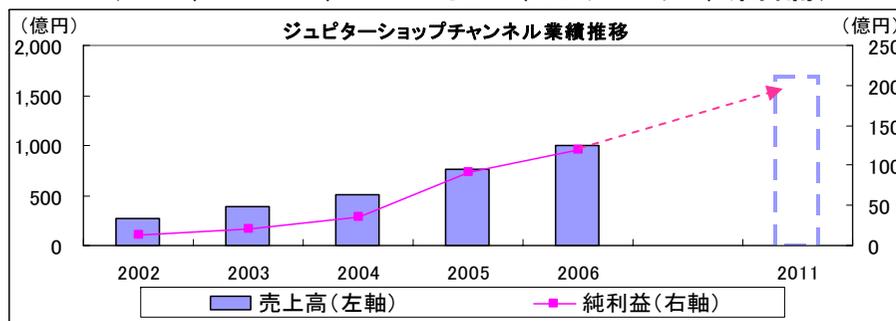
3.GG Planの進捗状況

②収益基盤の拡大(3)

【メディア・ライフスタイル】 [マルチチャンネル戦略の推進 / コアビジネス拡大]

▶ ジュピターショップチャンネル子会社化 (SCメディアコム経由)

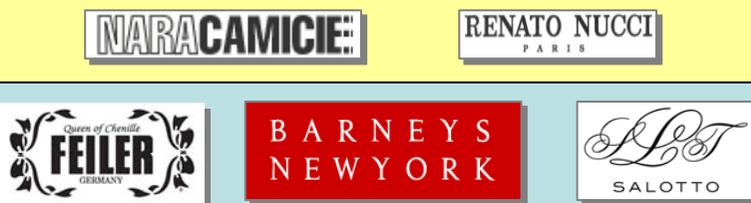
- ・マルチチャンネルリテイル事業推進
(TV、WEB、モバイル、カタログ、店舗)



▶ ブランドビジネスの拡充

- ・ナラカミーチェ買収

ナラカミーチェ展開ブランド



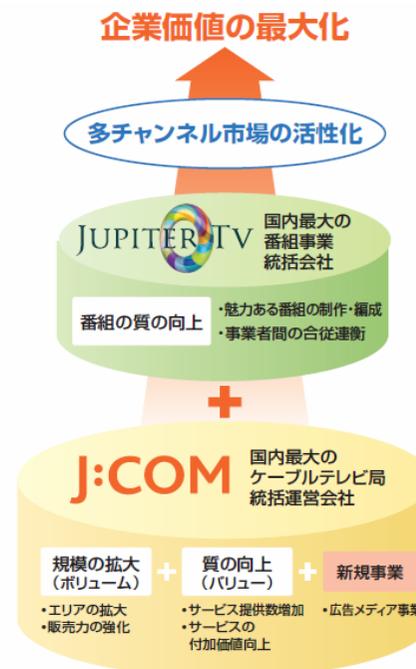
▶ ジュピターテレコム(J:COM)

【ボリューム & バリュー戦略】

+

【コンテンツの質の向上】

・ジュピターTV統合



3.GG Planの進捗状況

②収益基盤の拡大(4)

【資源・エネルギー】[バランスの取れた上流権益の拡充]

既存4本柱
(銅、石炭、石油、LNG)

新たな上流権益の柱の
構築



・マダガスカルAmbatovy : 年産6万トンの世界最大級のニッケルプロジェクト

(年間持分生産量: ニッケルメタル1.6万トン) 2007/8開発決定、2010年生産開始予定

・ボリビアSan Cristobal : 生産規模で銀世界3位、亜鉛6位の鉱山

(年間持分生産量: 銀184トン・亜鉛7.9万トン・鉛2.9万トン) 2007/8より生産開始

・米国Roca Honda : カザフスタンに続くウラン権益

(年間プロジェクト生産量: ウラン800~1000トン) FS開始、2013年生産開始予定

・南アAssmang社 : 鉄鉱石、マンガン、クロムを生産

(年間持分生産量: 鉄鉱石40万トン) 2015年までに100万トン超へ

クリーンエネルギー分野への
進出

【太陽電池用原材料】

・中国のシリコンメーカーSolargiga Energy社との戦略的パートナーシップ締結

3.GG Planの進捗状況

②収益基盤の拡大(5)

【インフラ】[安定収益基盤の強化・拡充]

➤IPP/IWPP*の増強 (*IPP:独立発電事業者、IWPP:独立発電造水事業者)

・タイAmata Power権益取得

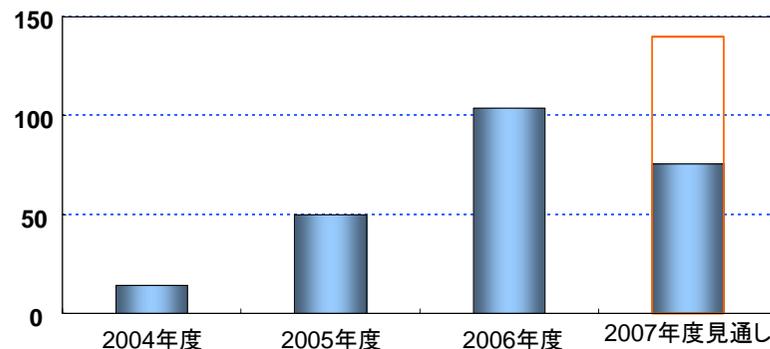
持分発電量[07/9現在 2,800MW]

➤環境・省エネビジネスへの取り組み

・風力発電プロジェクト(中国 内モンゴ)

IPP/IWPPの持分損益

(億円)



【化学品・エレクトロニクス】[グローバルネットワークの拡充]

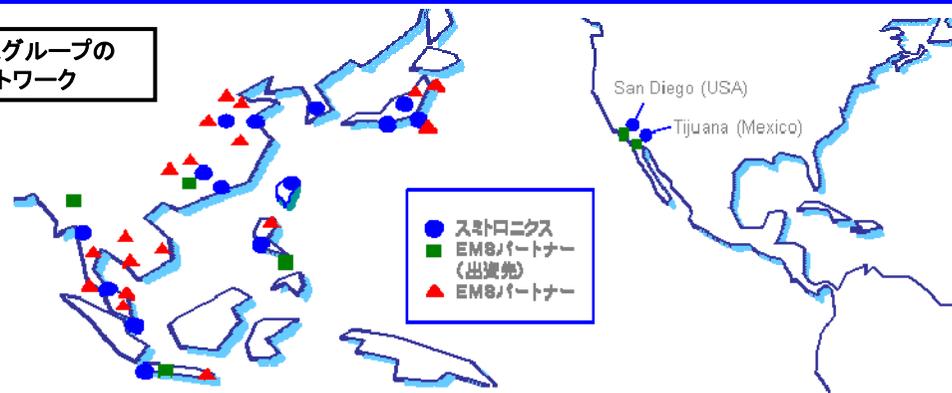
➤グローバル展開

・EMS事業:アジア⇒北米

➤製造事業への進出

・高純度シリカ(液晶用ガラス原料)製造会社設立:豪州/タスマニア

スミトロニクスグループのEMSネットワーク



3.GG Planの進捗状況

②収益基盤の拡大(6)

【生活産業・建設不動産】[コアビジネスの拡充]

➤木材加工事業強化

- ・Terneyles社(ロシア)の出資比率引き上げ(45%)

➤タイヤ販売事業のグローバル展開

- ・米国卸・小売:TBC Corporation
- ・卸売:UAE + タイ・ロシア



【金融・物流】[機能とサービスの高度化]

➤新たなコア収益基盤[中小企業金融ビジネス]の確立

- ・ガリアプラス株式会社(持分:61%)取得 : 売掛債権担保融資事業

➤機能強化を通じた収益基盤の拡大[ベトナムでの展開]

- ・第2タンロン工業団地(220ha)開発(第1タンロン:274ha開発済)
- ・中越陸路定期輸送サービス開始

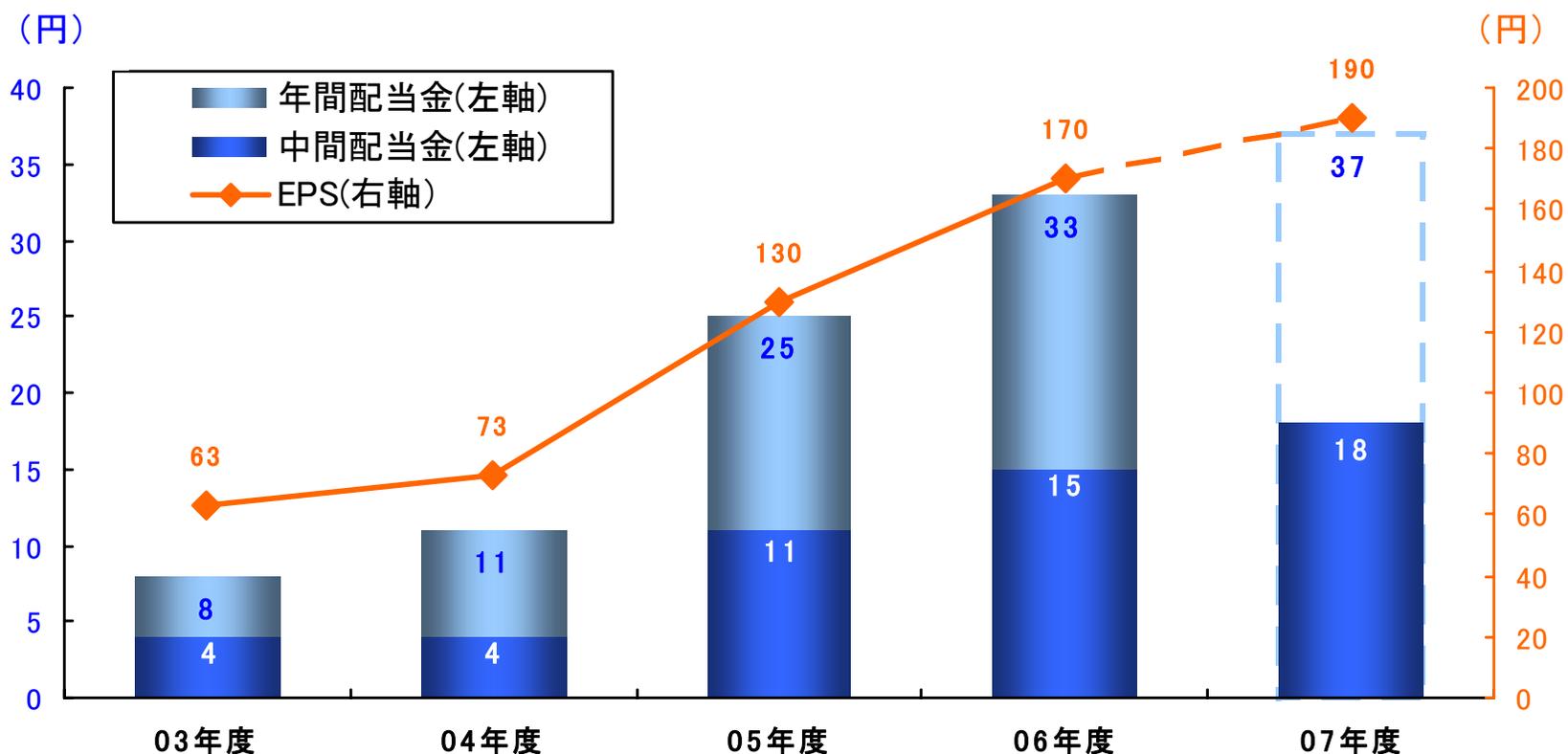


4. 中間配当

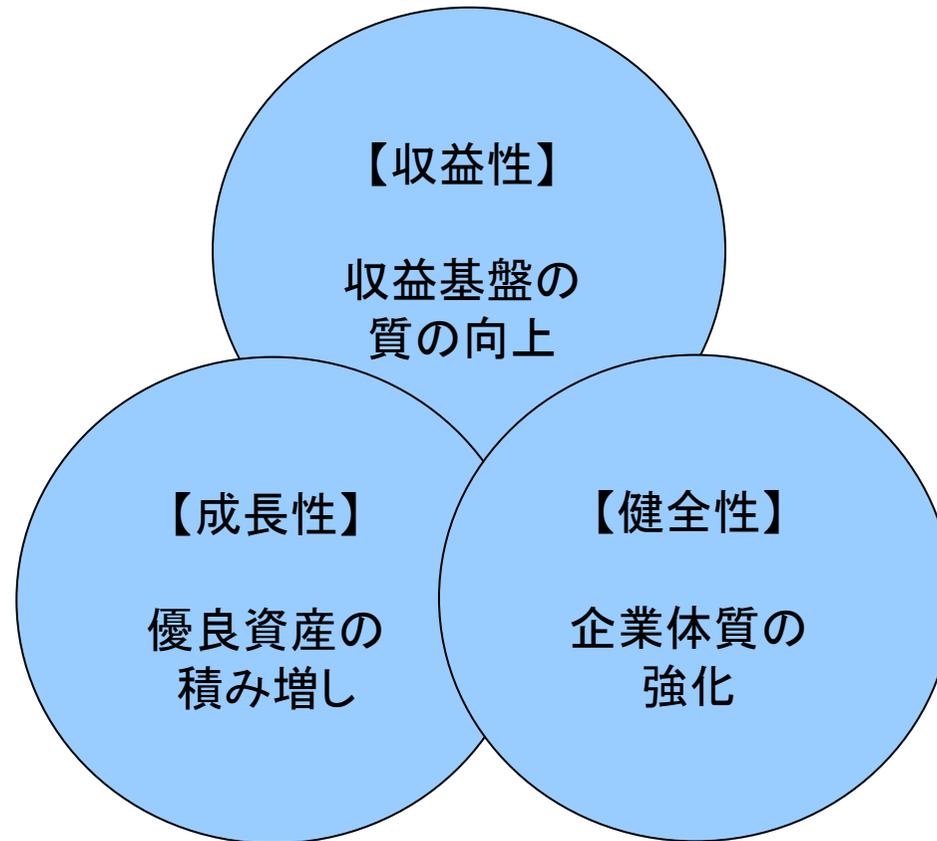
配当方針:GG Plan中は、配当性向20%を目処

中間配当金:一株当たり18円

純利益年間見通し2,350億円を達成した場合⇒ 予想年間配当金37円
中間はその半分を還元



5. 持続的成長に向けて ①



中長期的に安定してリスク・リターン15%以上を
確保できる体制の構築

5. 持続的成長に向けて ② 更なる質の向上

収益基盤の質の向上

経営資源の入替の
更なる推進

経営資源の
最適配分

既存コアビジネス及び
買収案件のバリューアップ

収益の太い柱の構築

5.持続的成長に向けて ③

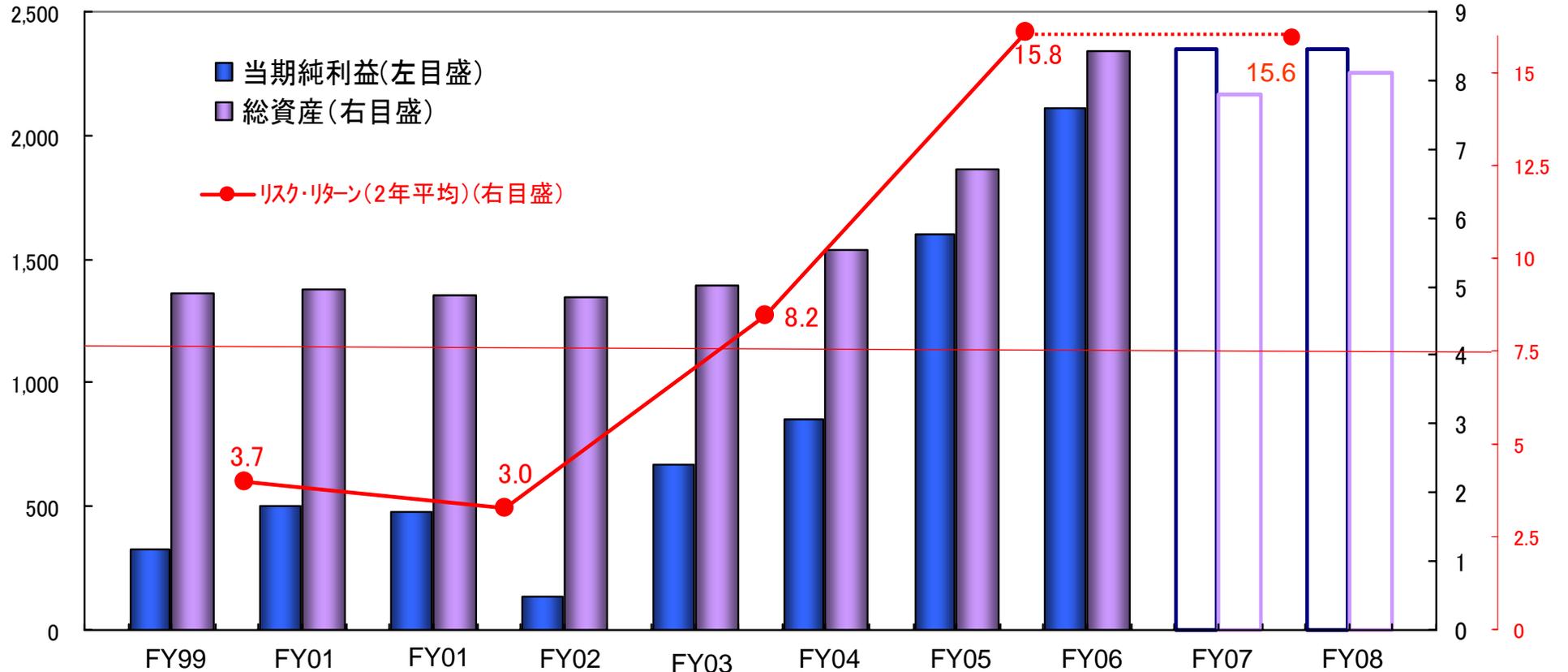
変化をチャンスに、チャンス成長に

(参考資料)

①体質強化と収益基盤拡大の歩み

(億円)

(兆円) (%)



改革パッケージ	Step Up Plan	AA Plan	AG Plan	GG Plan
事業の選別、 資産の圧縮 による体質強化	中核事業の 構築・拡大、 資産の入替 による 収益性の向上	優良資産を 積極的に 積み増し	収益基盤の 拡大に軸足	新たな 成長ステージに 向けて、更なる 質の向上を追求

(参考資料)

②黒字額・赤字額(持分損益)

